





関係者別の成果のハイライト

規制薬物の処方における危害ゼロ化：薬物検査サポートの強化を通じ、処方遵守モニタリングの精度を向上

 患者	安全性の向上	<p>自動再検付きの薬物スクリーニングオプションの導入後、適切な確認検査を用いた外来での薬物スクリーニングオーダーの数は、45.5% (53% から 98.5% に) 増加しました。</p> <p>アヘン / ベンゾジアゼピンのコンプライアンス検査が 135 倍に増加したことにより、包括的かつ適切な規制薬物検査および処方モニタリングを受ける患者数が 3 倍に増加したことで、オピオイドとベンゾジアゼピンの薬物の危険な組み合わせを検出する可能性や、スクリーニング免疫測定のカットオフ値未満の濃度で存在する化合物を検出する可能性が高まりました。</p>
 臨床医	信頼性の向上	<p>確認検査への自動再検や検体の完全性チェックなど、処方コンプライアンスパネル内の新しい検査機能により、臨床的意思決定のためのより迅速で強化された洞察が可能になります。これには、尿中薬物スクリーニング推定陽性の 20% に偽陽性が同定されたことや、検体の 4% が希釈されたものと同定されたことが含まれ、これらは偽陰性結果につながった可能性があります。</p>
	リスクの低減	<p>「ラボ相談サービスは非常に役に立っています。私の一般的な質問や患者ごとの固有の質問にも、彼らはすぐに対応し、丁寧に対応してくれます。このリソースを利用できることを知ることで、難しい薬物検査の症例の解釈や、患者をケアする際のさらなる信頼性と自信を与えてくれます。」</p> <p>- UH Parma Comprehensive Pain Program、ディレクター、Kutaiba Tabbaa 博士</p>
 医療制度 / 病院経営	病院のリスクの軽減	<p>「規制薬物モニタリングプログラムの一環として当検査室が提供している最新の検査オプションは、患者と医療従事者のリスクを軽減する上で非常に役立っています。確定的な（確認）検査結果は、医療従事者に次の行動の決定に使える情報を提供するため、患者のケアに有意義に関与することが可能になります。検査オプションに加えて、教育用資材は、患者の特定の状況に適した検査を効率的に医療従事者に案内することにより検査選択プロセスを簡素化します。」</p> <p>- Edward Kay (RN)、Quality Improvement RN、Clinical Risk Management & Patient Safety のチームリーダー</p>
	コンプライアンスの強化	<p>適切なアヘン / ベンゾジアゼピンの処方コンプライアンスモニタリングを行う診療室数が 113% 増加しました。</p>
 医療費	医療費の削減	<p>院内で検査を実施するよう変更したことにより、アヘン / ベンゾジアゼピンの確認用薬物検査の費用が約 25% 削減されました。</p>